

学習目標

この授業を受講すると，Wikiとはどのようなものを理解し，PukiWikiを用いて基本的なWikiサーバ(サイト)の構築が出来るようになります．具体的には次のようなことができるように学習しましょう．

- Wikiとはどのようなものを説明できる
- PukiWikiによるWikiサーバを構築できる
- PukiWikiの基本的な設定ができる
- Wikiでページの作成や編集ができる
- Wikiサイトにパスワード認証をかけることができる

Wikiとは

これまでにDNS，メールサーバ，Webサーバを構築してきました．今回と次回のトピックでは，Webサーバの応用例として，Webサーバに載せるコンテンツ等を管理するコンテンツ管理システムContents Management System，CMS)についてみていきます．今回は，Webブラウザから簡単にWebページを作成したり編集したりできる機能を提供する，Wikiサーバを構築します．Wikiは，HTMLよりも簡単にWebページを作成できるツールです．Wikiを使うことで，同じページを複数の人で構築たり，まとめサイト(特定の話題に関する情報をまとめる)たりなどの情報共有ができます．また，個人のメモ・備忘録を残すためにも使うこともできます．

この演習では，PukiWikiによりWikiサーバを構築します．PukiWikiは，日本語をサポートしたWikiクローンの1つです．

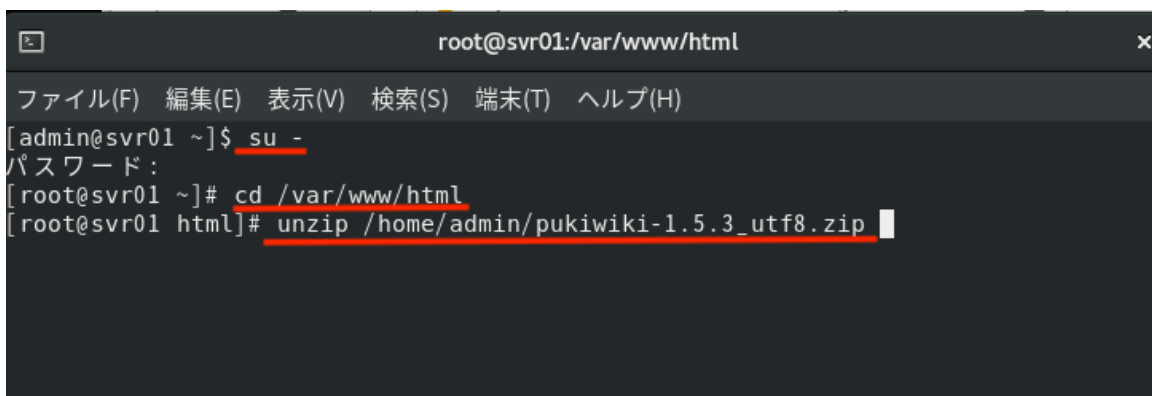
PukiWikiのインストール

PukiWikiはWebサーバ上で動作するPHPというスクリプト言語で書かれています。PukiWikiを動作させるためには、Webサーバ上でPHPが動作するように設定する必要があります。この授業の演習環境では、既にPHPがインストールされています。

PukiWikiのプログラムファイル(スクリプトファイル群)は、PukiWiki公式サイトからダウンロードすることができます。この授業の演習環境では、既にPukiWikiがダウンロードしてありますのでそれを使います。

それでは、PukiWikiをインストールします。PukiWikiは、PHPのスクリプトです。WebサーバでPHPが動作するようになっていれば、WebサーバのドキュメントフォルダにPHPのスクリプトファイルを置くだけで、そのスクリプトをWebブラウザから呼び出すことで実行することができます。

PukiWikiのプログラムファイルは、zipファイルとしてまとめられています。このファイルを展開するために、PukiWikiをインストールするディレクトリで次のコマンド(unzip)を実行してください。PukiWikiは、Webサーバのドキュメントルート(/var/www/html)に置くことにします。このディレクトリへ移動して、unzip コマンドを実行します(図1)。

A terminal window titled 'root@svr01:/var/www/html' showing the following commands and prompts: 1. Menu bar: ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 検索(S) 端末(T) ヘルプ(H). 2. Prompt: [admin@svr01 ~]\$ su - 3. Prompt: パスワード: 4. Prompt: [root@svr01 ~]# cd /var/www/html 5. Prompt: [root@svr01 html]# unzip /home/admin/pukiwiki-1.5.3_utf8.zip

```
root@svr01:/var/www/html
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 検索(S) 端末(T) ヘルプ(H)
[admin@svr01 ~]$ su -
パスワード:
[root@svr01 ~]# cd /var/www/html
[root@svr01 html]# unzip /home/admin/pukiwiki-1.5.3_utf8.zip
```

図1 PukiWikiのプログラムファイルを展開する

まずsuコマンドでrootユーザに変更します。

```
su -
```

次に、cdコマンドで /var/www/html ディレクトリへ移動します。

```
cd /var/www/html
```

次に、cdコマンドで /var/www/html ディレクトリへ移動します。

PukiWikiのプログラムファイルは/home/admin/ フォルダにある pukiwiki-1.5.3_utf8.zip です。このファイルを、unzipコマンドで展開します。

```
unzip /home/admin/pukiwiki-1.5.3_utf8.zip
```

PukiWikiのプログラムが pukiwiki-1.5.3_utf8 フォルダに展開されます。このままでもかまいませんが、このフォルダ名がそのままWikiサイトのアドレスに使われますので、アクセスしやすいようにフォルダの名前を pukiwikiに変更します。また、pukiwikiのフォルダの所有者とグループがrootになっていますので、どちらも apacheに変更します。

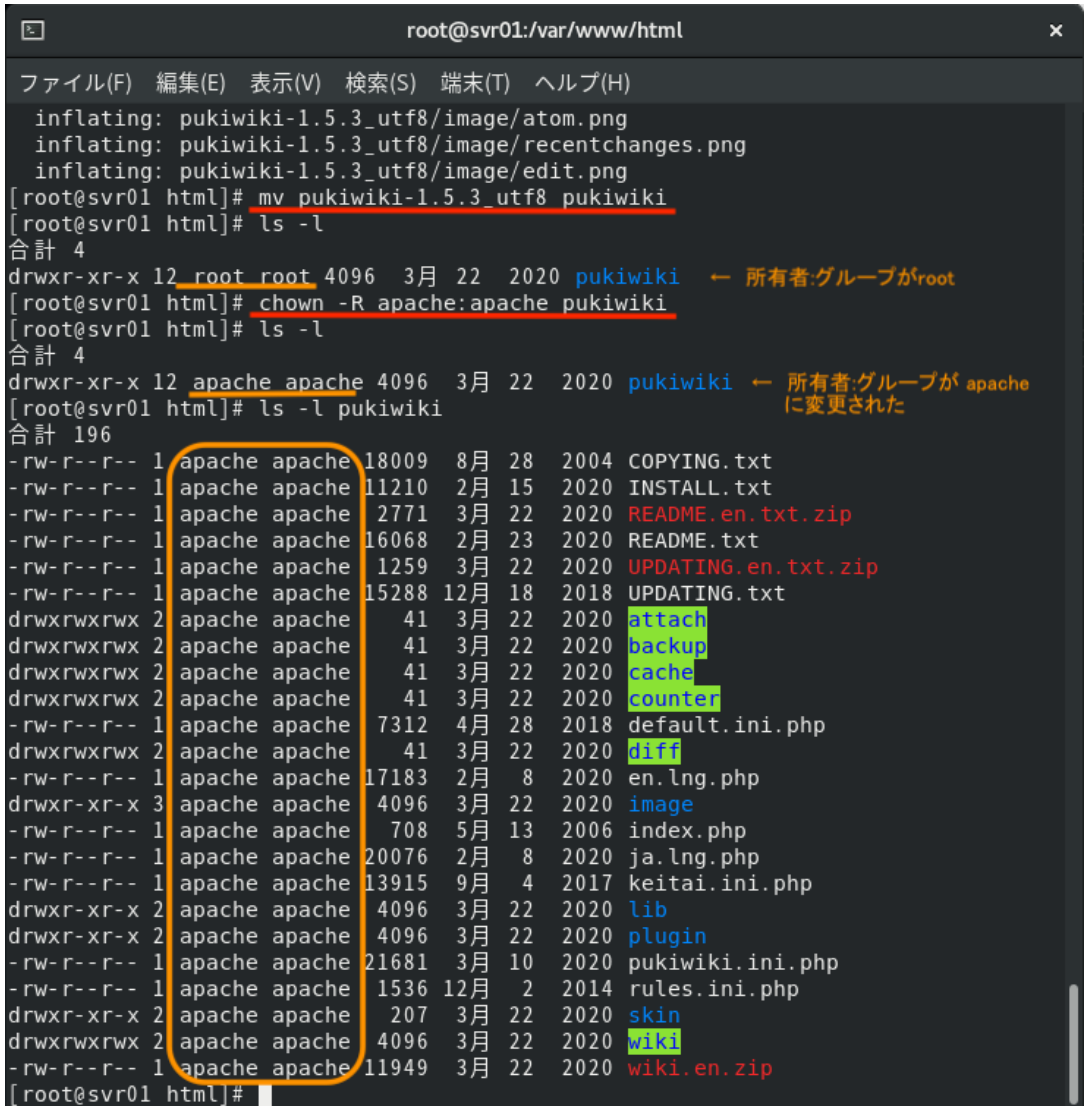


図2 pukiwikiディレクトリの名前と所有者・グループの変更

mvコマンドでフォルダ名を変更します。

```
mv pukiwiki-1.4.7notb pukiwiki
```

chwonコマンドでpukiwikiフォルダ以下のファイルとフォルダの所有者とグループをapacheに変更します。Chownコマンドに -R オプションをつけて実行します。

```
chown -R apache:apache pukiwiki
```

PukiWikiのフォルダ内の，各フォルダのアクセス権は，図2のように設定されているはずですが．

これでPukiWikiが起動するはずですが．Webブラウザを起動して，次のアドレスにアクセスします．

```
http://localhost/pukiwiki/
```

図3のように，PukiWikiのページが表示されればファイルのインストールは完了です．

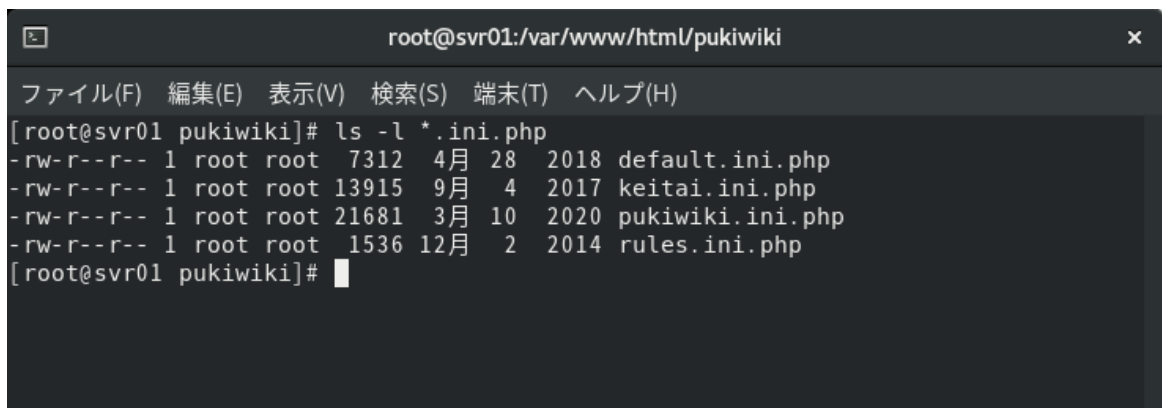


図3 PukiWikiの起動画面

※外部に公開するWebサーバにPukiWikiをインストールする際は，次に説明する管理パスワードを設定するまでは，セキュリティに配慮して外部からアクセスできないようにする等の対策が必要です．

PukiWikiの設定

PukiWikiの設定ファイルは、.ini.php という拡張子が付いています。PukiWikiを展開したフォルダ(前の章でpukiwiki という名前に変更したフォルダ)に、次の4つの設定ファイルがあります(図4)。



```
root@svr01:/var/www/html/pukiwiki
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 検索(S) 端末(T) ヘルプ(H)
[root@svr01 pukiwiki]# ls -l *.ini.php
-rw-r--r-- 1 root root 7312  4月 28  2018 default.ini.php
-rw-r--r-- 1 root root 13915  9月  4  2017 keitai.ini.php
-rw-r--r-- 1 root root 21681  3月 10  2020 pukiwiki.ini.php
-rw-r--r-- 1 root root 1536 12月  2  2014 rules.ini.php
[root@svr01 pukiwiki]#
```

図4 PukiWikiの4つの設定ファイル

- pukiwiki.ini.php : PukiWiki全体についての設定
- keitai.ini.php : 携帯電話などから閲覧した時の表示設定
- lidefault.ini.php : keitai.ini.phpに該当しなかった場合(パソコンから閲覧した時はここに該当)の表示設定
- rules.ini.php : 各種ルールの設定

ここでは、全体の基本的な設定について、pukiwiki.ini.phpのいくつかの項目をみていきます。前の章の通りにPukiWikiをインストールしていれば、/var/www/html/pukiwiki/フォルダにpukiwiki.ini.phpファイルがあるはずです。viエディタなどで開き、編集します。図5にpukiwiki.ini.phpファイルの一部を示します。設定するのは次の4つの項目です。

- ・ サイト名
- ・ 管理者名
- ・ 管理者サイト
- ・ 管理パスワード

「サイト名」はこのWikiサイトのページの名前です。「`$page_title`」で設定します。図6のブラウザのタイトルバーに表示される名称です。初期設定では「PukiWiki」となっていますので、自分のWebサイトの名称に変更します。

「管理者名」は、Wikiサイトのページの下部にある「Site admin:」に表示される管理者の名前です。「`$modifier`」で設定します。この管理者名はリンクになっており、「管理者サイト」へリンクされています。「管理者サイト」は「`$modifierlink`」で設定します。初期設定では管理者名が「anonymous」、管理者サイトが「<http://pukiwiki.example.com/>」になっています。(管理者のリンク先がブラウザのステータスバーに表示されています。)

```
<?php
// PukiWiki - Yet another WikiWikiWeb clone
// pukiwiki.ini.php
// Copyright
// 2002-2020 PukiWiki Development Team
// 2001-2002 Originally written by yu-ji
// License: GPL v2 or (at your option) any later version
//
// PukiWiki main setting file
.
.
.

////////////////////////////////////
// Title of your Wikisite (Name this)
// Also used as RSS feed's channel name etc
$page_title = 'PukiWiki'; サイト名

// Specify PukiWiki URL (default: auto)
// $script = 'http://example.com/pukiwiki/';

// Shorten $script: Cut its file name (default: not cut)
// $script_directory_index = 'index.php';

// Site admin's name (CHANGE THIS)
$modifier = 'anonymous'; 管理者名

// Site admin's Web page (CHANGE THIS)
$modifierlink = 'http://pukiwiki.example.com/'; 管理者のWebサイト

// Default page name
$defaultpage = 'FrontPage'; // Top / Default page
.
.
.

////////////////////////////////////
// Admin password for this Wikisite

// Default: always fail
$adminpass = '{x-php-md5}!'; 管理者パスワード

// Sample:
// $adminpass = 'pass'; // Cleartext
// $adminpass = '{x-php-md5}1a1dc91c907325c69271ddf0c944bc72'; // PHP md5() 'pass'
// $adminpass = '{x-php-sha256}d74ff0ee8da3b9806b18c877dbf29bbde50b5bd8e4dad7a3a725000feb82e8f1'; // PHP sha256 'pass'
// $adminpass = '{CRYPT}$1$AR.Gk94x$uCe8fUUGMfxAPH83psCZG/'; // LDAP CRYPT 'pass'
// $adminpass = '{MD5}Gh3JHJBzJcaScd3wyUS8cg=='; // LDAP MD5 'pass'
// $adminpass = '{SMD5}o7lTdtHFDqxFOVX09C8QnlmYmZnd2Qx'; // LDAP SMD5 'pass'
// $adminpass = '{SHA256}10/w7o2juYBrGMh32/KbveULW9jk2tejpyUAD+uC6PE=' // LDAP SHA256 'pass'
.
.
.
```

図5 pukiwiki.ini.php の設定項目(一部)



図6 PukiWikiのトップページ . 設定項目が表示されている

これらを自分のサイトに合わせて設定してください . 図7では , 例として次のように設定しています .

- \$page_title = 'Abe\'s Wiki'
- \$modifier = 'Abe Taro'
- \$modifiereLink = 'http://www.nss00t000.teikyo/'

ページ名(\$page_title)の「\'」は , 「'」を表示しています . 「'」記号は文字列を囲むために使われる文字で あるためそのまま入力できません . このような場合は「\'」を付けて入力することで , ここでの「'」の動作 を無効にして(エスケープして) , 「'」という文字として認識させることができます .


```
//////////////////////////////////////////
// Title of your Wikisite (Name this)
// Also used as RSS feed's channel name etc
$page_title = 'Abe\'s Wiki';

// Specify PukiWiki URL (default: auto)
//$script = 'http://example.com/pukiwiki/';

// Shorten $script: Cut its file name (default: not cut)
//$script_directory_index = 'index.php';

// Site admin's name (CHANGE THIS)
$modifier = 'Abe Taro';

// Site admin's Web page (CHANGE THIS)
$modifierlink = 'http://www.nss00t000.teikyo/';
```

図7 pukiwiki.ini.phpの設定例

Pukiwiki.php.iniを保存する際，viエディタのコマンドモードで":w"としても保存できない場合があります．
そのような場合は，":w!"と"!マークを付けると，強制的に保存できます．
PukiWikiのサイトの表示を更新すると，図8のようになり，「サイト名」，「管理者名」，「管理者のWebサイト」が更新されていることが分かります．

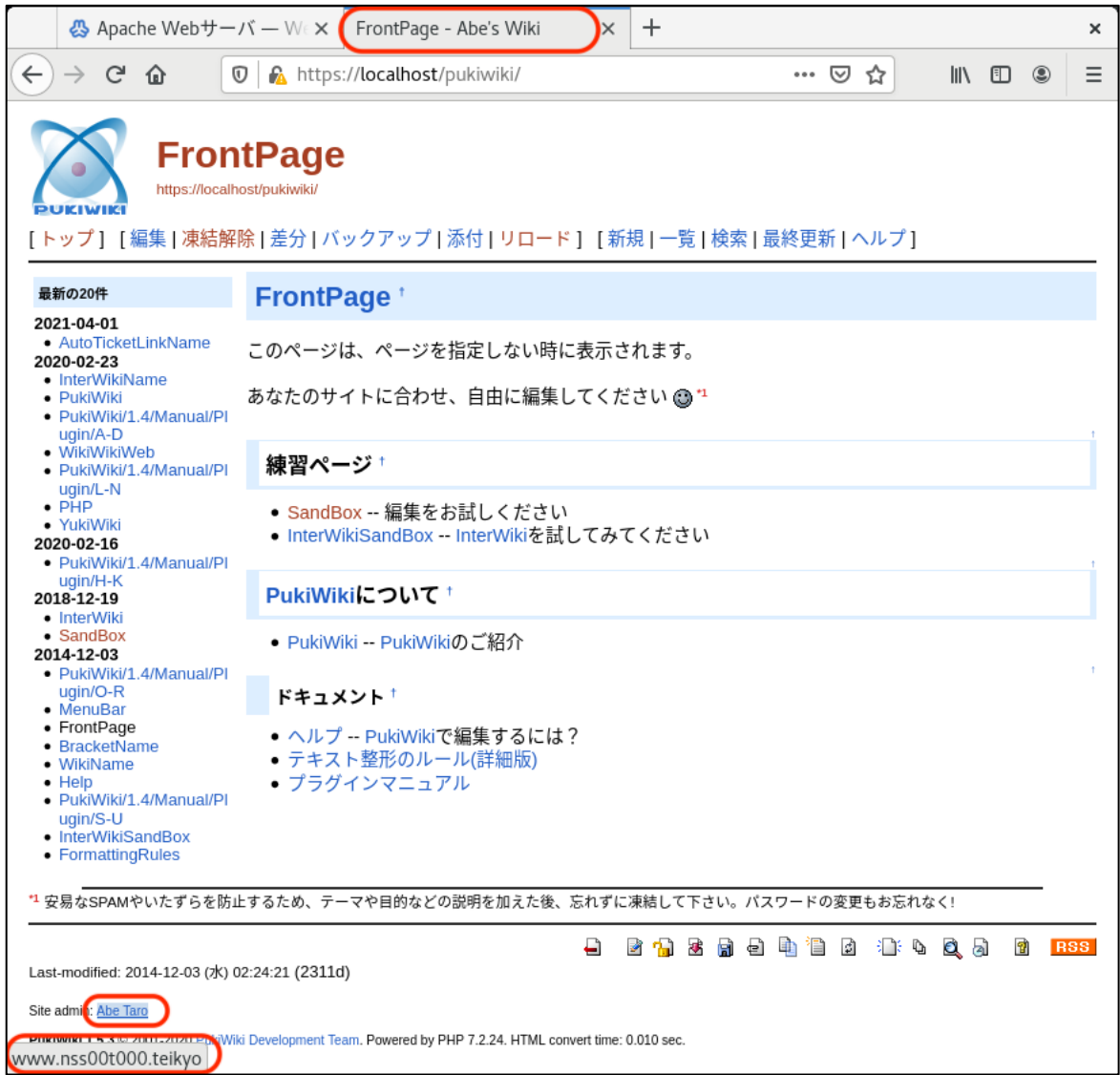


図8 Wikiサイトの「サイト名」，「管理者名」，「管理者のWebサイト」が更新された

次に管理パスワードを設定します。管理パスワードは平文で記述することもできますが、万が一 pukiwiki.ini.php を盗み見られてしまっても管理パスワードが流出しないように、暗号化した文字列を設定します。

暗号化されたパスワードを取得するには、md5 コマンドを使い、次のように実行します。（'teikyo2020'を暗号化しています。） ※echoコマンドに-nオプションをつけて実行します。

```
echo -n teikyo2020 | md5sum
```

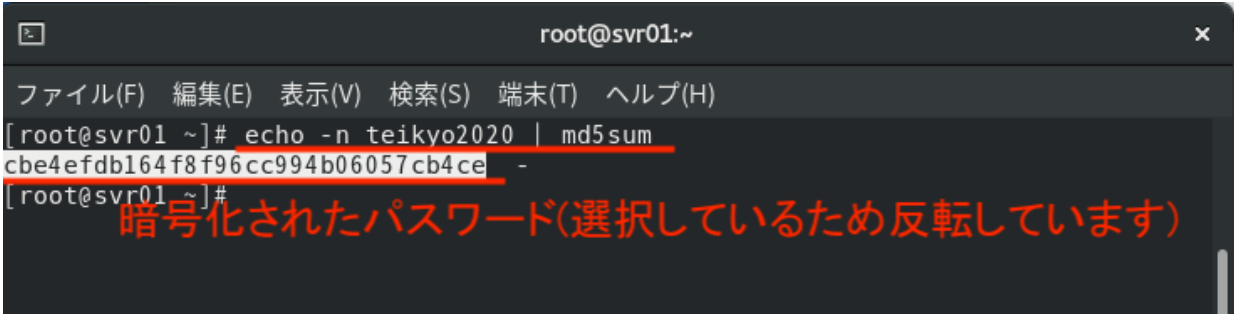


図9 md5sumで'teikyo2020'を暗号化する

暗号化されたパスワードが表示されたらパスワードを選択して、端末のメニューから[編集]-[コピー]を実行します。

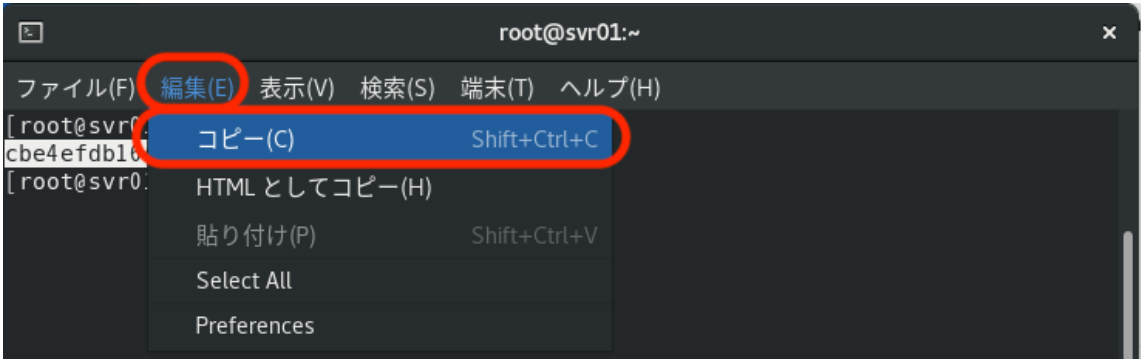


図10 暗号化されたパスワードをコピーする

viエディタで pukiwiki.ini.php (/var/www/html/pukiwiki/pukiwiki.ini.php)を開き、\$adminpass にコピーしたパスワードに設定します(図11)。

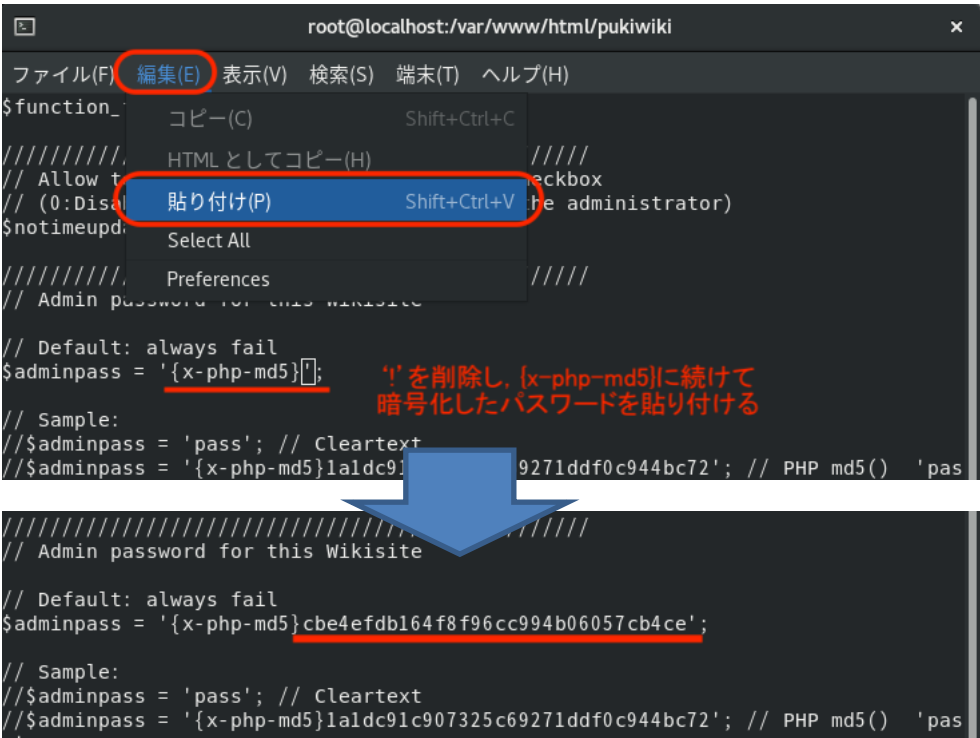


図11 pukiwiki.ini.phpの\$adminpassに暗号化されたパスワードを設定する

管理パスワードは、ページを凍結したり、凍結を解除したりするときに使います。以上の設定が終わったら、次はページの編集や、ページの作成の方法についてみていきます。

Pukiwikiの画面構成

図12にPukiWikiの画面構成を示します。

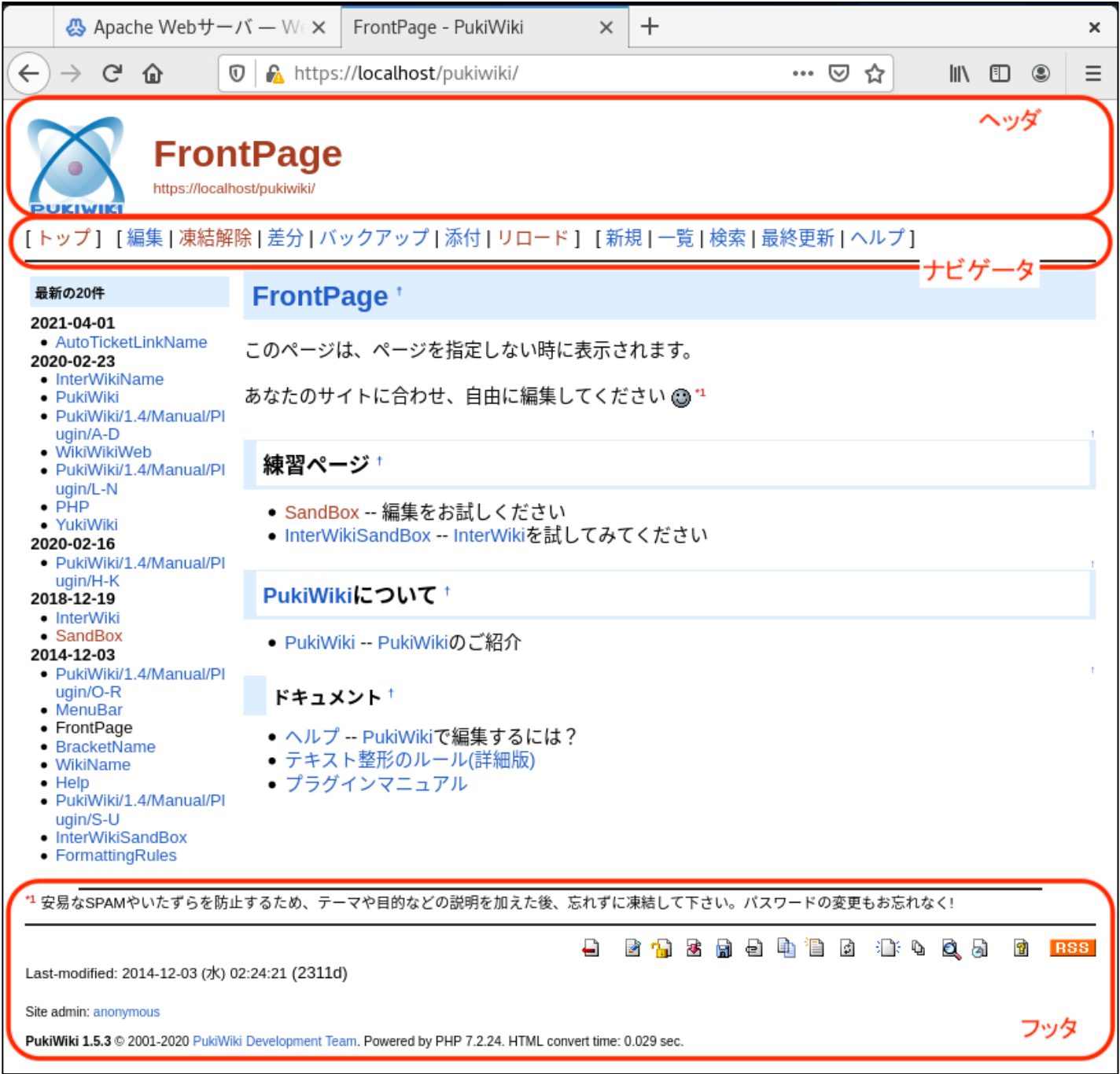


図12 PukiWikiの画面構成

一番上が「ヘッダ」部です。ヘッダ部には、現在表示しているページのページ名が表示されます。その下にある細長いリンクの集まりが「ナビゲータ」部です。ナビゲータ部に表示される項目は、ページごとや、編集時の画面などで異なります。ナビゲータ部の下に「コンテンツ」が表示されます。コンテンツ部には、左側に更新情報、右側に本文が表示されます。更新情報はすべてのページで共通です。一番下「フッタ」部です。表示されているアイコンは、ナビゲータのアイコンです。また、最終更新日、サイトの管理者などの情報が表示されます。

練習用ページ**SandBox**の使い方

WikiはWebブラウザからページを編集できるツールです。それではページを編集してみましょう。PukiWikiには試しに編集してみるためのページ「SandBox」が用意されていますのでこれを使います。PukiWikiのトップページから「SandBox」のリンクをクリックします(図13)。



図13 編集の練習用のページ「SandBox」を開く

すると、図14のような「SandBox」ページが開きます。このページは、初期状態では「凍結」されています。凍結されたページは、凍結解除しなければ編集できません。凍結解除には、管理パスワードが必要となります。このページの凍結を解除するため、図14のページの「凍結解除」をクリックします。



図14 SandBoxページの「凍結解除」をクリックする

図15の凍結解除画面が表示されますので、管理パスワード(テキストの通りなら'teikyo2020')を入力して「凍結解除」ボタンを押します。

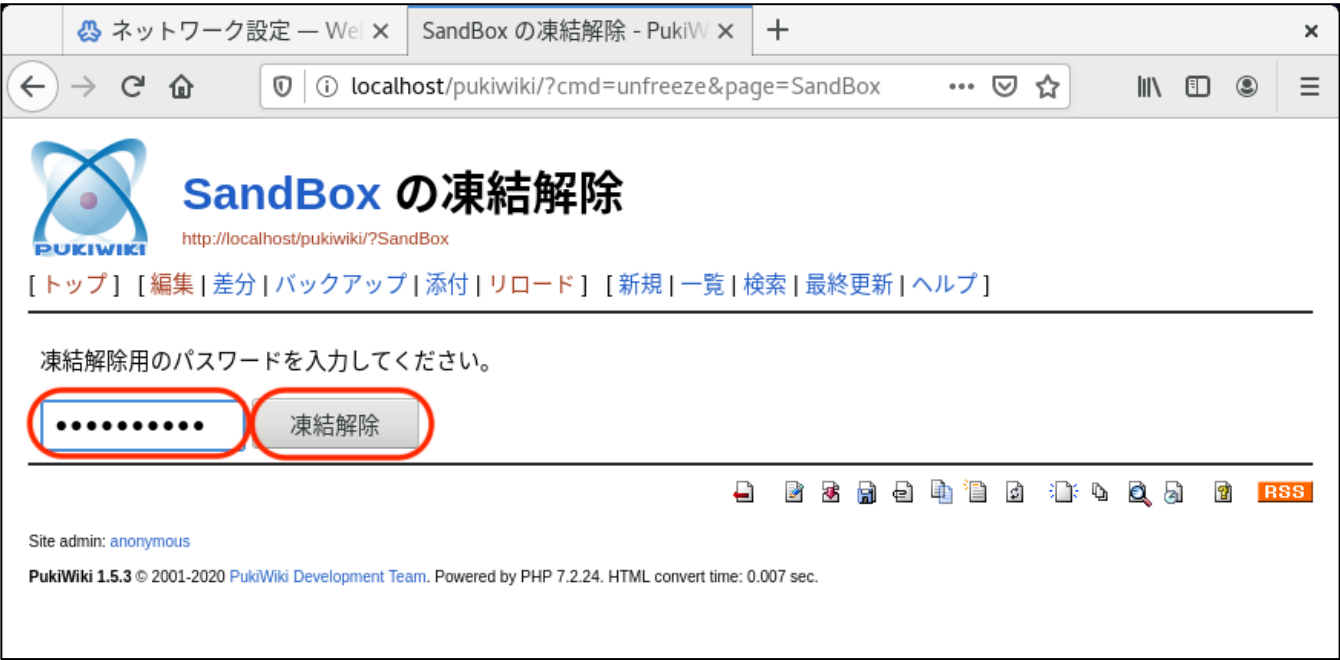


図15 凍結解除のために管理パスワード入力する

図16の編集画面に変わります . Wikiではこの画面からWebページを編集します .

※ModSecurityの無効化

PukiWikiの文法で使われる記号の一部がセキュリティにより使えないため , Pukiwikiのページを編集する前に ModSecurityの設定を変更します . viエディタで /etc/httpd/conf.d/mod_security.conf ファイルを開き , 「SecRuleEngine」を「Off」に設定します .

```
[root@localhost pukiwiki]# vi /etc/httpd/conf.d/mod_security.conf
```

```
<IfModule mod_security2.c>
# Default recommended configuration
SecRuleEngine Off ← [SecRuleEngine]を [Off] に設定する
SecRequestBodyAccess On
SecRule REQUEST_HEADERS:Content-Type "text/xml" \
    "id:'200000',phase:1,t:none,t:lowercase,pass,nolog,ctl:requestBodyProcessor=XML"
SecRequestBodyLimit 13107200
SecRequestBodyNoFilesLimit 131072
SecRequestBodyInMemoryLimit 131072
SecRequestBodyLimitAction Reject
SecRule REQBODY_ERROR "!@eq 0" \
```

設定を変更したらファイルを保存したら , 端末で「systemctl restart httpd」を実行して , Apacheを再起動します .

```
[root@localhost pukiwiki]# systemctl restart httpd
[root@localhost pukiwiki]#
```

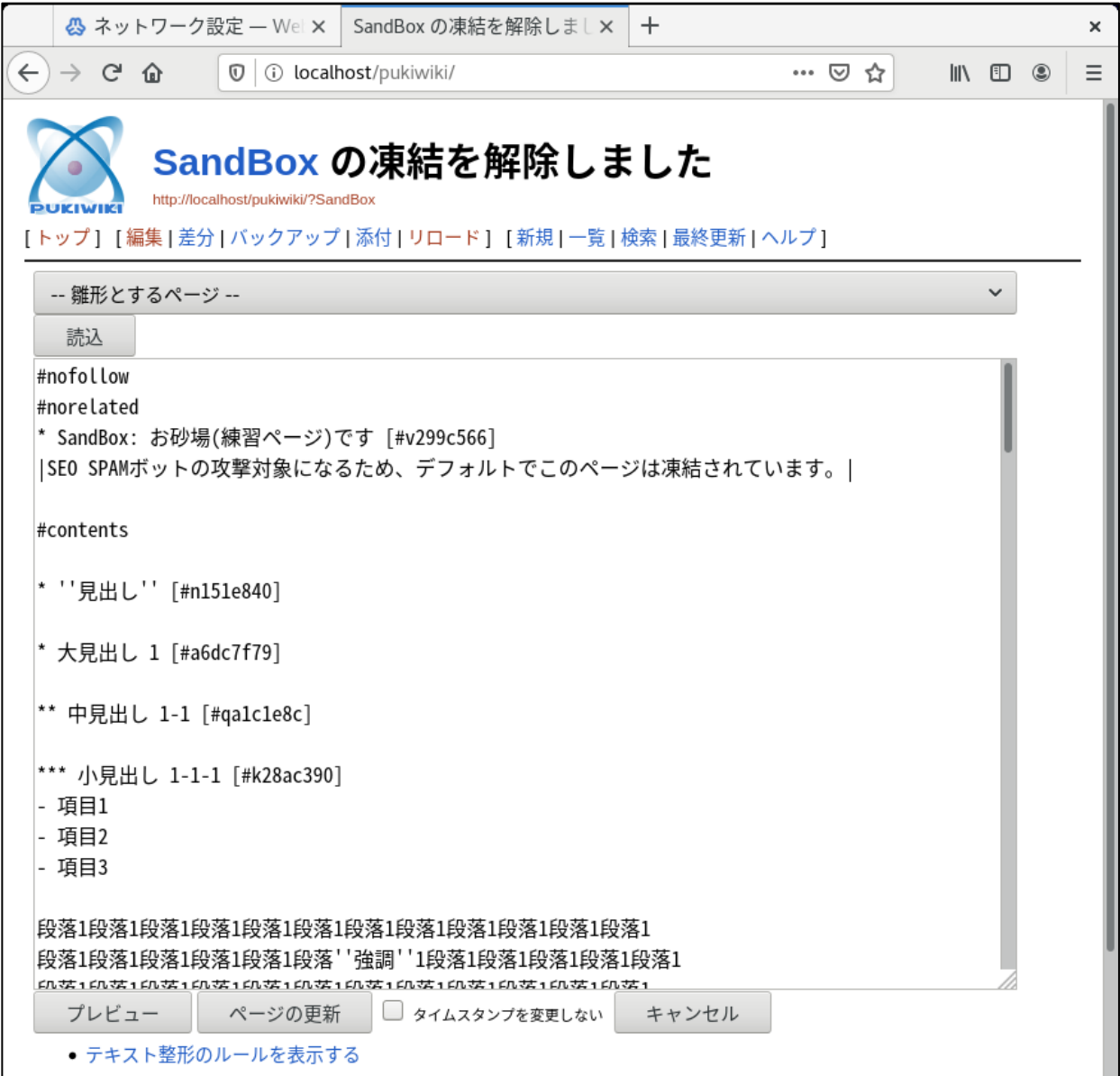
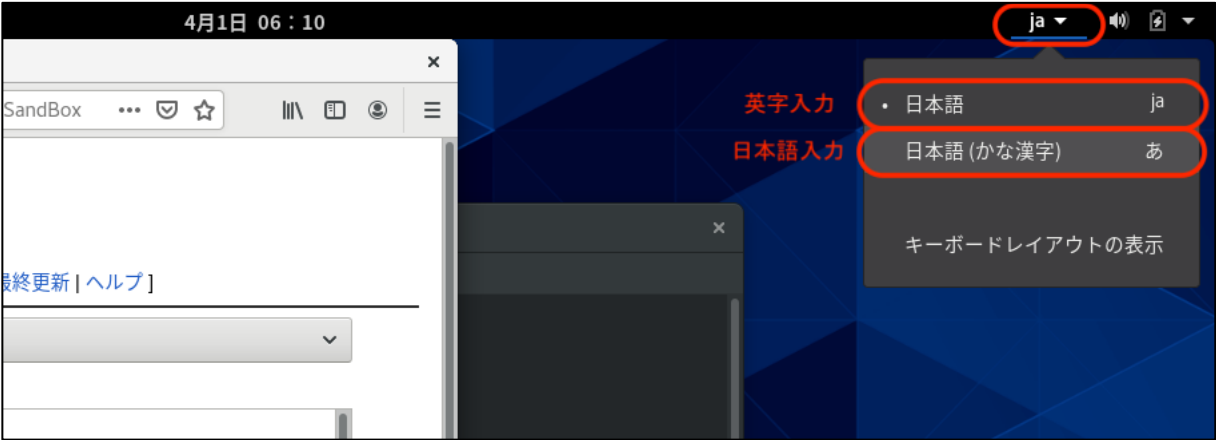



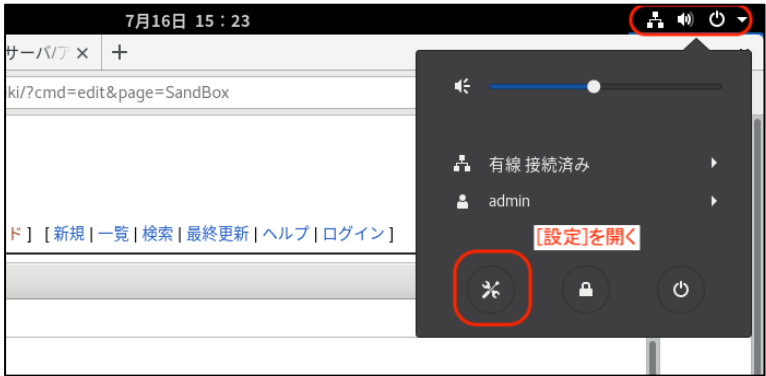
図16 SandBoxページの編集画面が表示される

○日本語の入力

CentOSで日本語入力をするにはWindowsなら[Win]+[スペース]キーを押します。
Macなら[Shift]+[Command]+[スペース]キーを押します。
画面の向かって右上のメニューから切り替えることもできます。



※画面の右上のメニューに“ja”と表示されていない場合は，言語の設定から”日本語(漢字)”を追加します．
まず，画面の右上のメニューから[設定]を開きます．



[設定]の[Region & Language]タブの[入力ソース]の[+]ボタンを押して，追加する入力ソースを選択します．
[入力ソースの追加]で[日本語]を選択し，さらに[日本語(かな漢字)]を選択して，[追加]ボタンを押します．



これで入力ソースの切り替えのメニューが表示されるようになります．



ページの編集

SandBoxで編集ができるようになったら，WikiでWebページのコンテンツを作成してみましょう．

(1)改行，段落，文字の色，文字の大きさ

Wikiの本文は改行を入れてもそこでは改行されません．改行するには，行末に「~」を付けます．ただし，文中に「~」を付けた場合は改行されません．もう1つの改行記号「&br;」なら，文中でも改行されます．また，段落は空行を1行入れることで区切ることができます．

例：

改行には~
記号あるいは&br;
を付ける．
ただし文中では~では改行されないため，その場合は&br;を付けると改行される．

空行を1行入れると，新たな段落として表示される．

文字の色を変えたい部分は「&color(文字色){・・・};」で囲みます．また，文字の大きさを変えたい部分は「&size(文字サイズ){・・・};」で囲みます．

例：

色を変えるには&color(red){赤い文字};や
&color(#00ff00){緑の文字};のように書きます．
また，文字の大きさを変えるには，&size(16){少し小さめの文字};や
&size(24){少し大きめの文字};のように書きます．

改行には
記号あるいは
を付ける．ただし文中では~では改行されないため，その場合は
を付けると改行される．

空行を1行入れると，新たな段落として表示される．

色を変えるには赤い文字や 緑の文字のように書きます．また，文字の大きさを変えるには，
少し小さめの文字や 少し大きめの文字のように書きます．

図17 改行，段落，文字の色，文字の大きさの例

(2)見出し

見出しには「*」を付けます。「*」の個数で、見出し1、見出し2、見出し3、となります。

例：

*見出し1
**見出し2
***見出し3

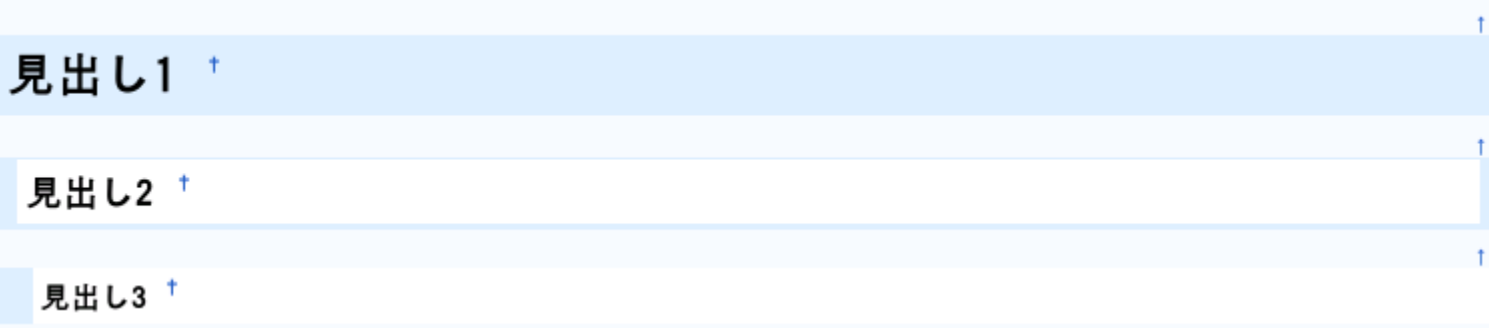


図18 見出しの例

(3)リスト，番号付きリスト，定義リスト

リスト(番号なし)には、「-」，番号付きリストには「+」を付けます。

例：

- リスト1
-- リスト2
--- リスト3

+ 番号付きリスト1
++ 番号付きリスト2
+++ 番号付きリスト3

ページの編集

また，定義リスト(htmlのタグ)には，「:」と「|」を付けます．「::」や「:::」とすると，インデントが下がります．

例：

:キーワード|説明文はここに書く
::インデント下げ2 |説明文はここに書く
:::インデント下げ3|説明文はここに書く

- リスト1
 - リスト2
 - リスト3
- 1. 番号付きリスト1
 - i. 番号付きリスト2
 - a. 番号付きリスト3

キーワード
説明文はここに書く

インデント下げ2
説明文はここに書く

インデント下げ3
説明文はここに書く

図19 リスト，番号付きリスト，定義リストの例

(4)強調，斜体，打ち消し線，水平線

文字の強調は，強調する文字を「" . . . 」で囲みます．

例：

本文の''強調したい部分''をシングルクォーテーション2つで囲みます．

また，斜体は「" . . . 」で囲みます．

例：

斜体は'''イタリック'''とよばれることもあります

打ち消し線は，「%% . . . %%」で囲みます．

例：

訂正するところに%%打ち消し線%%を引きます．

水平線は，「----」(半角 - 4個)で引くことができます．

例：

ここと

ここを水平線で区切ります．

本文の**強調したい部分**をシングルクォーテーション2つで囲みます。

斜体は*イタリック*とよばれることもあります

訂正するところに~~打ち消し線~~を引きます。

ここと

ここを水平線で区切ります。

図20 強調，斜体，打ち消し線，水平線の例

(5)リンク

他のページへのリンクは，リンク先を「[[・ ・ ・]]

例：

```
Wiki内部のページへのリンクは[[SandBox]]のように書きます．&br;
また，外部ページへのリンクはURLをそのままhttp://www.nss00t000.teikyo/のように書きます．
```

また，リンクの表示をページ名やURLとは別に設定するには，[[(表示名)>(リンク先のページ名)]]

例：

```
[[練習用ページ>SandBox]]&br;
[[ホームページ>http://www.nss-01/]]
```

Wiki内部のページへのリンクはSandBoxのように書きます。
また，外部ページへのリンクはURLをそのままhttp://www.nss-01/のように書きます。

練習用ページ
ホームページ

図21 リンクの例

(6)表組

表を作成するには，項目を「|・ ・ ・ |」で区切って書きます．

例：

```
| 項目1 | 項目2 | 項目3 |
| 0.01 | 0.02 | 0.03 |
| A | B | C |
```

項目1	項目2	項目3
0.01	0.02	0.03
A	B	C

図22 表組の例

(7)図の表示

PukiWikiでは，表示したい画像のURLを書くと自動的にその画像が表示されます．

例：

画像ファイルのURLをhttp://localhost/pukiwiki/image/pukiwiki.gif
のように書くだけで画像が表示されます．

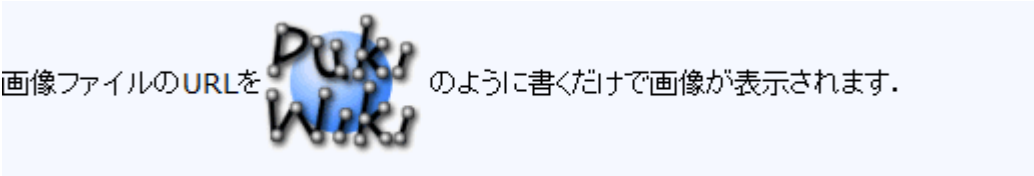


図23 画像の表示の例

この他のWikiでの記述法については，SandBoxの記述例や，Wikiのヘルプ(ナビゲータの「ヘルプ」のリンク)を開き，「テキスト整形のルール」を参照してください．

ページの新規作成

次は、Wikiで新しいページを作成してみます。新規にページを作成するには、ナビゲータの「新規」から行います(図24)。



図24 ナビゲータの「新規」から新しいページを作成する

図25の「ページ新規作成」画面が開きますので、作成するページのページ名を入力します(図25では「新しいページ」というページ名を入力している)。後で別のページからこのページにリンクを張る際には、このページ名を用います。ページ名を入力したら、「編集」ボタンを押します。

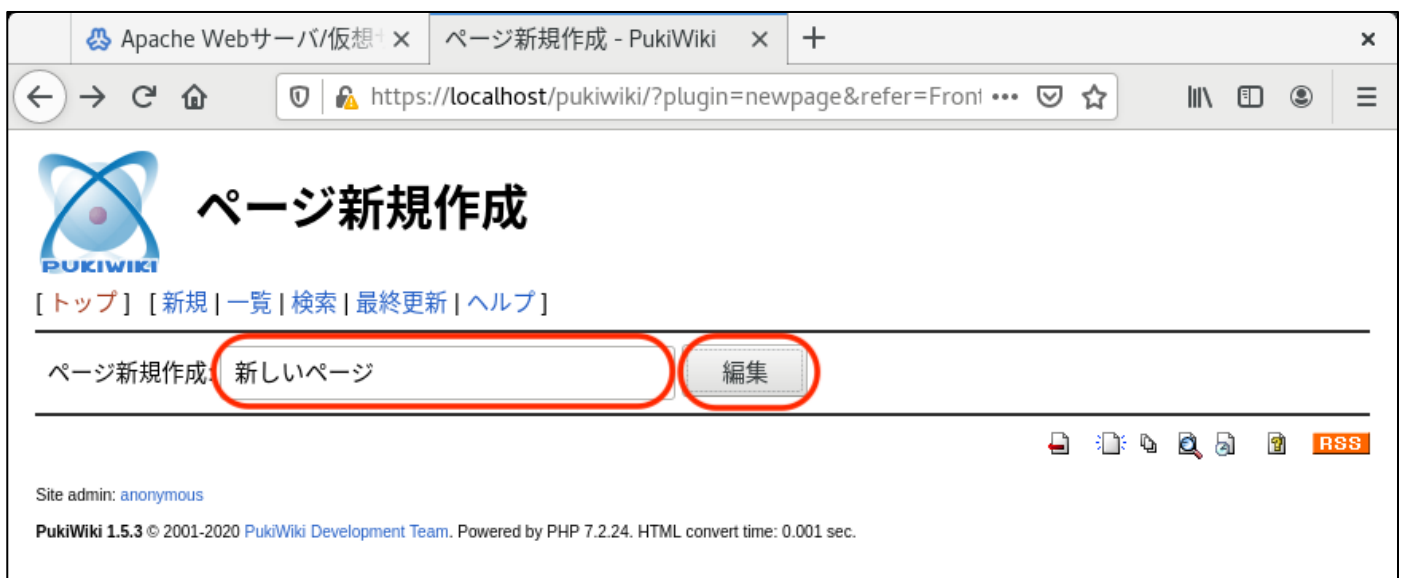


図25 新規に作成するページのページ名を入力し、「編集」ボタンを押す

すると、新規に作成したページの編集画面が表示されます(図26)。

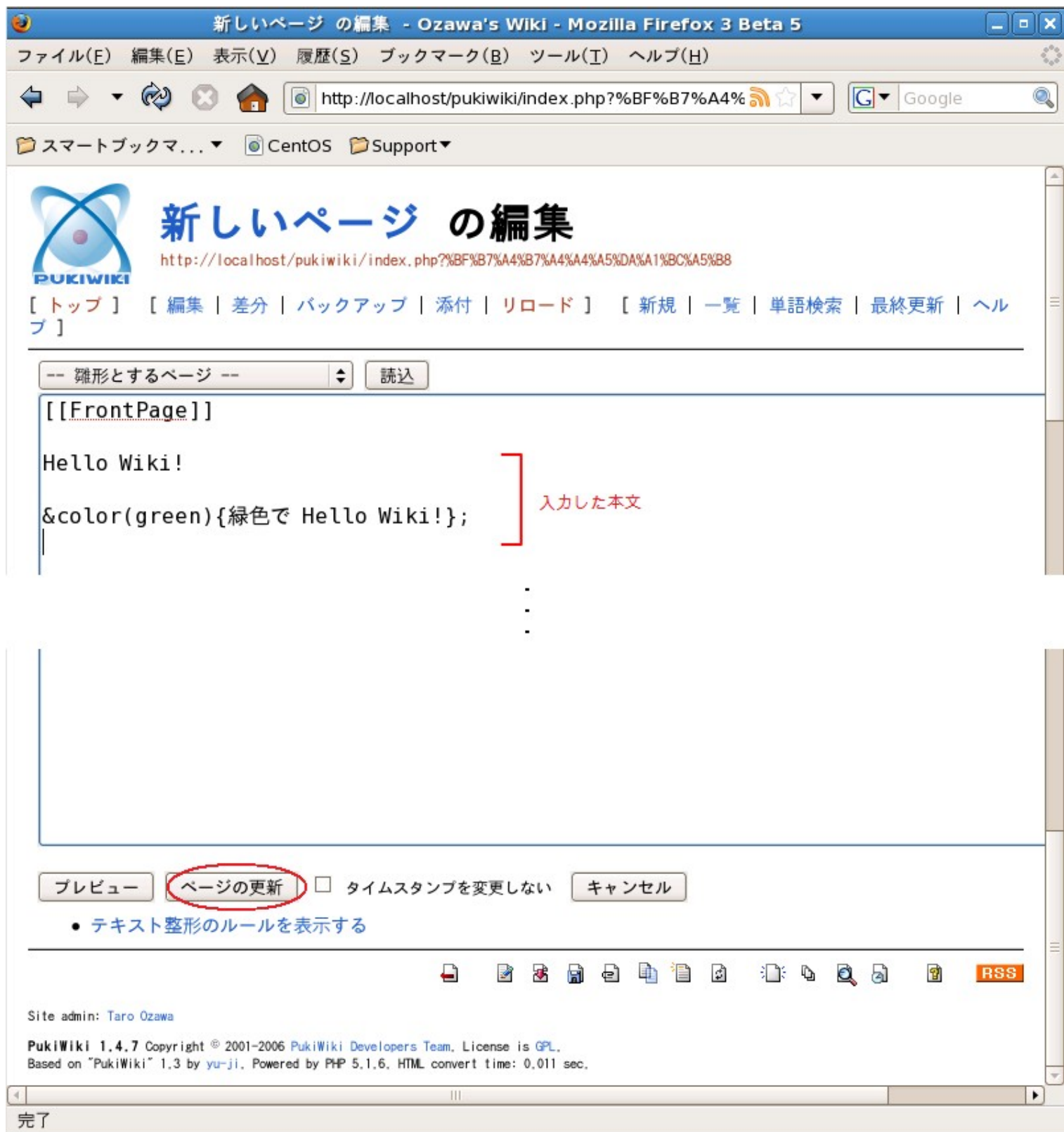


図26 新規に作成したページの編集画面が表示される

図26に本文を入力したら、「ページの更新」ボタンを押します。すると、図27のように、新しく作成されたページが表示されます。（「プレビュー」ボタンを押すと、作成中のページをブラウザで表示した様子をプレビューすることができます。）

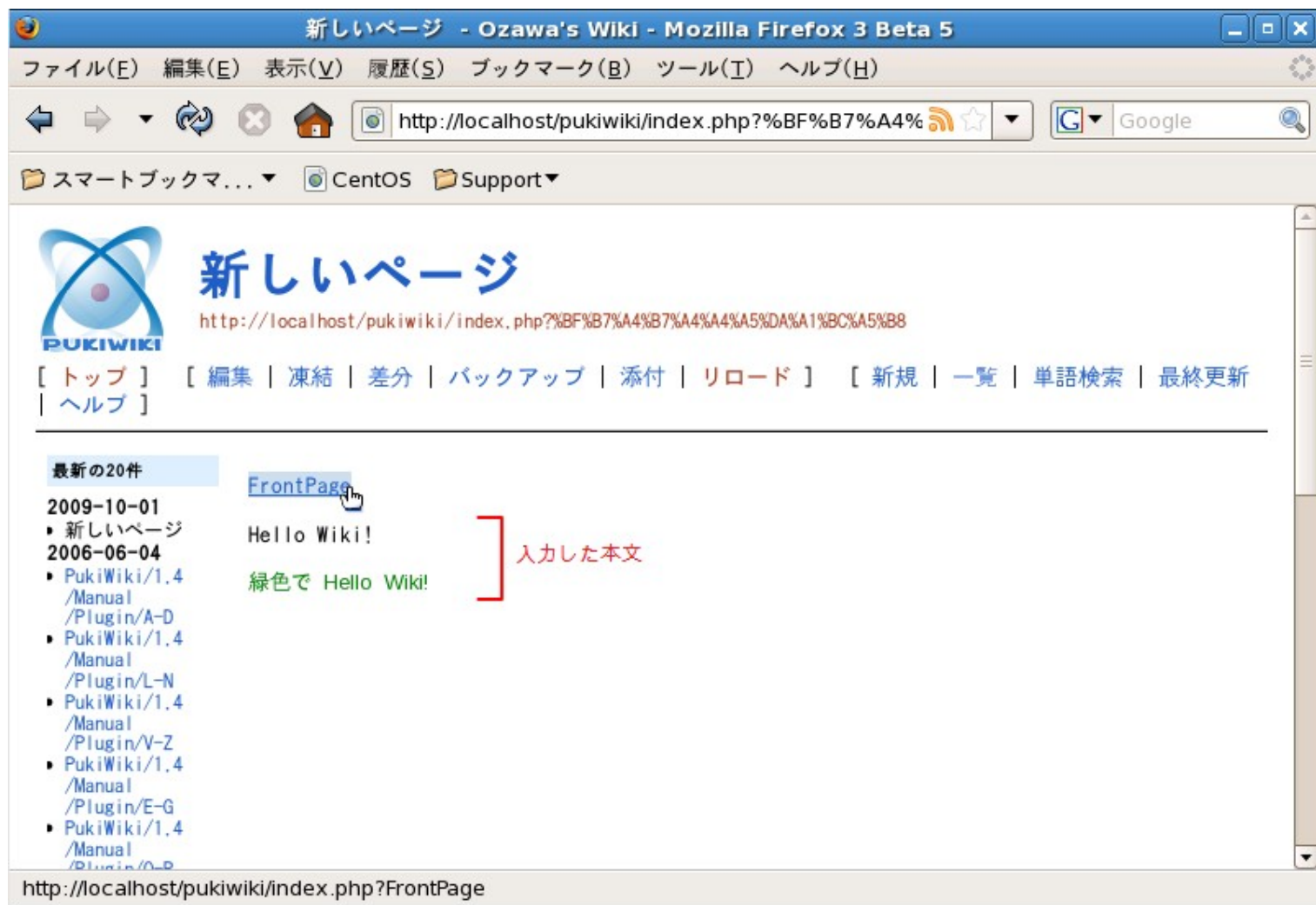


図27 新規に作成されたページ

新規に作成したページへ他のページからリンクを張るには、リンクを張りたいページに次のように記述します。

```
[[ (リンク先のページ名) ]]
```

例えば、「新しいページ」というページ名のページにリンクを張るには次のように書きます。

```
[[新しいページ]]
```

試しに、新規に作成した「新しいページ」へ、SandBoxページからリンクを張ってみましょう。

図28のSandBoxの編集ページに、「[[新しいページ]]」と入力します。



図28 「新しいページ」へのリンクを入力

「ページの更新」ボタンを押すと、図29のように「新しいページ」へのリンクが作成されます。

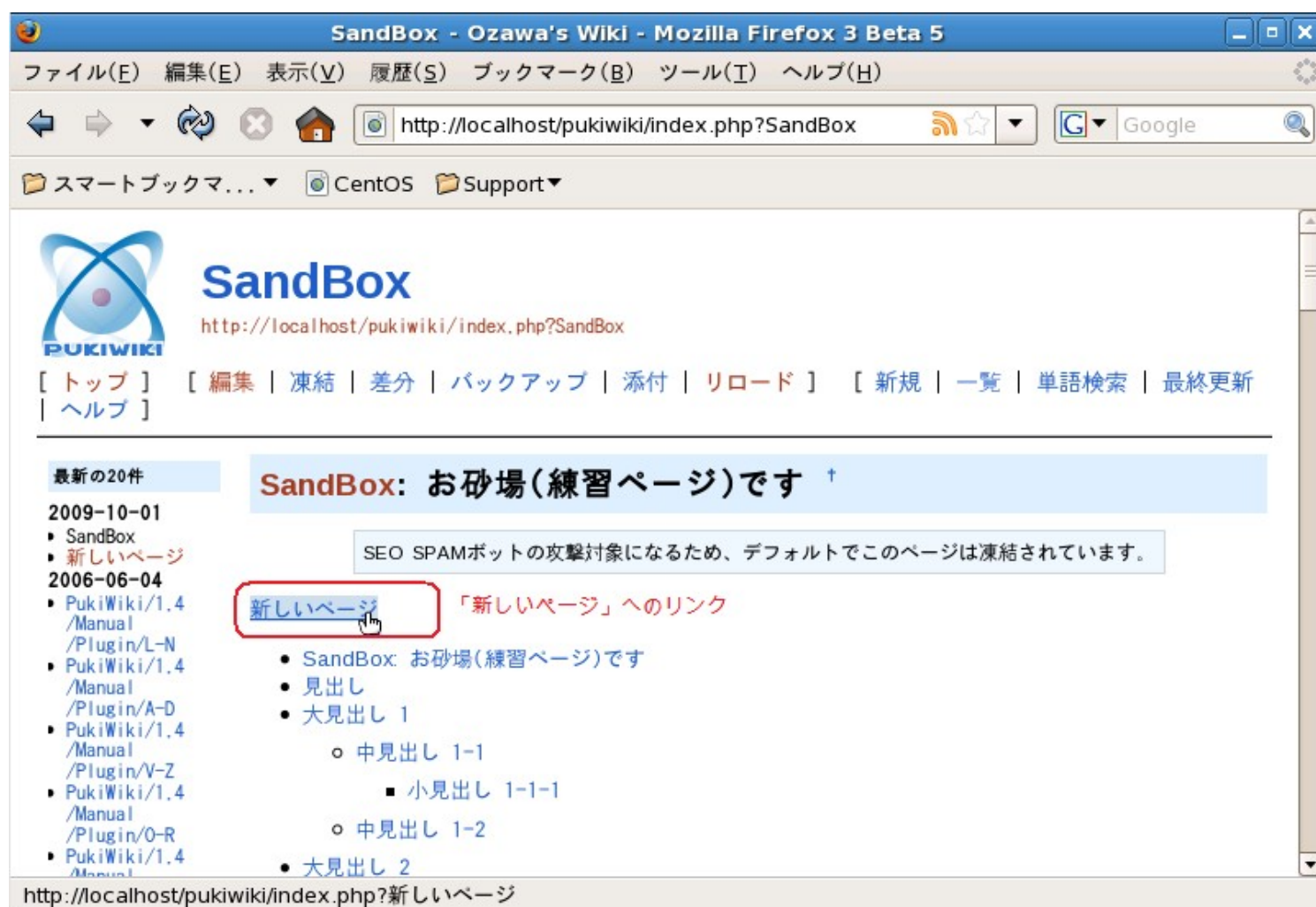


図29 作成された「新しいページ」へのリンク

パスワードの設定

PukiWikiでは、ページを開く際にパスワード認証を求めることで、ページを閲覧できる相手を制限することができます。PukiWikiのパスワード認証の仕組みは次の通りです。

1. ユーザ名(とそのパスワード)を定義する
2. 認証方法を設定する
3. 閲覧、編集などのときの認証を有効にする
4. 認証対象とするページを正規表現で指定する。さらに、そのページを閲覧したり編集したりできるユーザを設定する

(1)まず、ユーザを定義します。ユーザの定義は、pukiwiki.ini.phpの「\$auth_users」で行います。ユーザ定義の書式は次の通りです。

```
$auth_users = array( [ユーザ名] => [パスワード], . . . );
```

[ユーザ名]と[パスワード]を「=>」でつないだ組を、カンマ(,)で区切ってユーザ数分だけ記述します。図30では例としてユーザ名「abe」、パスワード「abe_passswd」で定義しています。パスワードは管理パスワードで設定したように、暗号化した文字列で設定することもできます。

```

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 検索(S) 端末(T) ヘルプ(H)
////////////////////////////////////
// User definition
$auth_users = array(
    // Username => password
    'foo' => 'foo_passwd', // Cleartext
    (1) 'abe' => 'abe_passwd', // Cleartext
    'bar' => '{x-php-md5}f53ae779077e987718cc285b14dfbe86', // PHP md5() 'bar_passwd'
    'hoge' => '{SMD5}0zJo/boHwM4q5R+g7LC0x2xGMkFKRVEx', // LDAP SMD5 'hoge_passwd'
);

// Group definition
$auth_groups = array(
    // Groupname => group members(users)
    'valid-user' => '', // Reserved 'valid-user' group contains all authenticated users
    'groupfoobar' => 'foo,bar',
);

////////////////////////////////////
// Authentication method
$auth_method_type = 'pagename'; (2) // By Page name
// $auth_method_type = 'contents'; // By Page contents

////////////////////////////////////
// Read auth (0:Disable, 1:Enable)
$read_auth = 1; (3)

$read_auth_pages = array(
    // Regex Groupname or Username
    '#PageForAllValidUsers#' => 'valid-user',
    '#HogeHoge#' => 'hoge',
    '#新しいページ#' => 'abe', (4)
    '#(NETABARE|NetaBare)#' => 'foo,bar,hoge',
);

////////////////////////////////////
// Edit auth (0:Disable, 1:Enable)
$edit_auth = 1; (3)

$edit_auth_pages = array(
    // Regex Username
    '#BarDiary#' => 'bar',
    '#HogeHoge#' => 'hoge',
    '#新しいページ#' => 'abe', (4)
    '#(NETABARE|NetaBare)#' => 'foo,bar,hoge',
);

```

図30 pukiwiki.ini.phpの\$auth_usersでユーザを定義する

(2)次に，認証方法を設定します．「\$auth_method_type」を「pagename」とすると，認証するか否かの判断をページ名で行い，「contents」とするとコンテンツで判断します．図_passwd02の例では，「pagename」を設定しています．

(3)パスワード認証するためには，閲覧，あるいは編集する際の認証を有効にしておく必要があります．ページの閲覧の認証を有効にするには「\$read_auth」に「1」を設定します．また，ページの編集を有効にするには，「\$edit_auth」に1を設定します．

(4)認証対象とするページを設定します．ページの閲覧の際の認証を設定するページは，「\$read_auth_pages」で定義します．閲覧の認証設定定義の書式は次の通りです．

※ページ名が「新しいページ」のような日本語の場合，うまく動作しない場合があるようです．その場合は，日本語を使わない半角英数字のみのファイル名(たとえば「newpage01」など)を使うようにしてください．


```
$read_auth_pages = array( [ページ名の正規表現] => [ページを閲覧できるユーザ], . . . );
```

また、ページの編集の際の認証は「\$edit_auth_pages」で定義します。

```
$edit_auth_pages = array( [ページ名の正規表現] => [ページを編集できるユーザ], . . . );
```

図30の(4)では、「新しいページ」というページは、ユーザ「abe」が、閲覧と編集をできるように設定しています。(ページ名の正規表現を'# . . . #'で囲んでいます。この中にページ名を記述します。

ページの認証を設定後に「新しいページ」を開こうとすると、ユーザ名とパスワードの入力を求められます(図31)。pukiwiki.ini.phpに入力したユーザ名(abe)と、パスワード(abe_passwd)を入力すると、ページを開くことができます(図32)。ユーザ名あるいはパスワードを間違えると、ページを開くことができません(図33)。

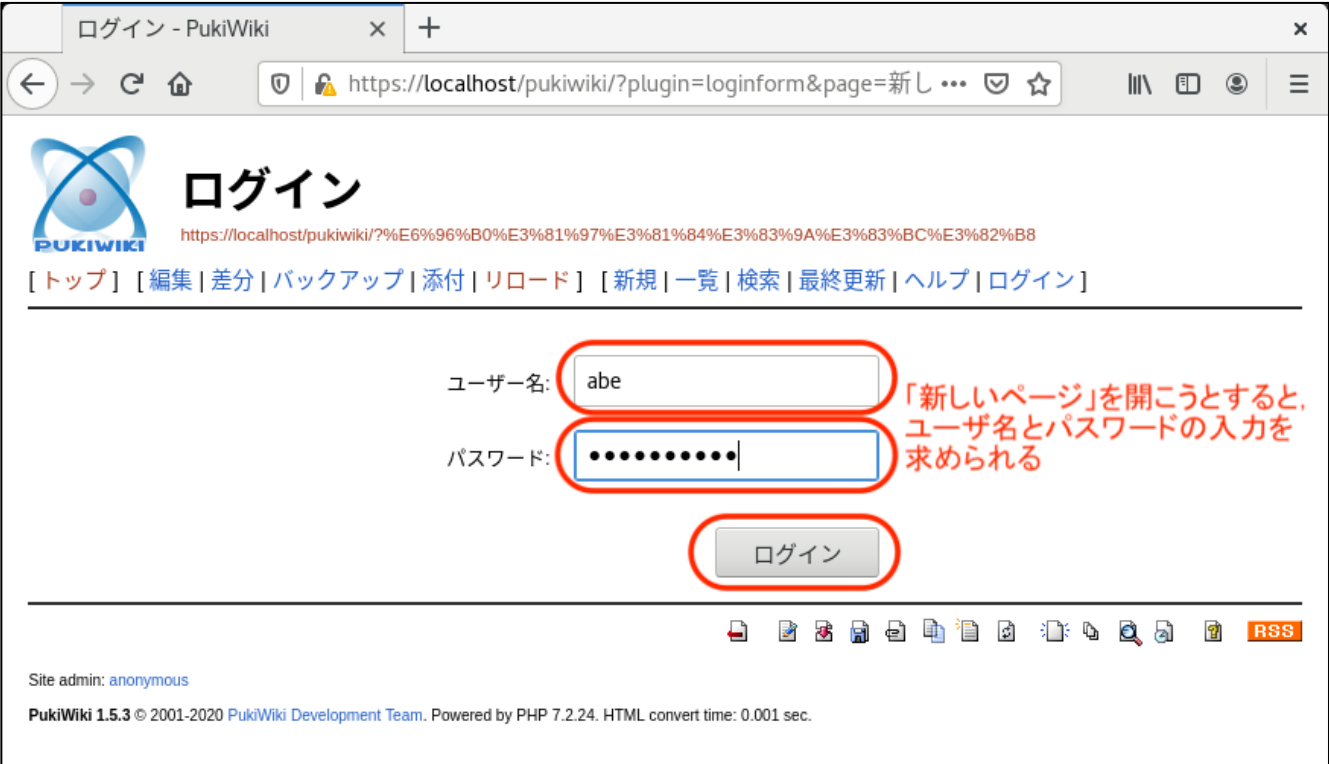


図31 「新しいページ」を開こうとするとユーザ名とパスワードの入力を求められる



図32 認証後に「新しいページ」を開くことができる

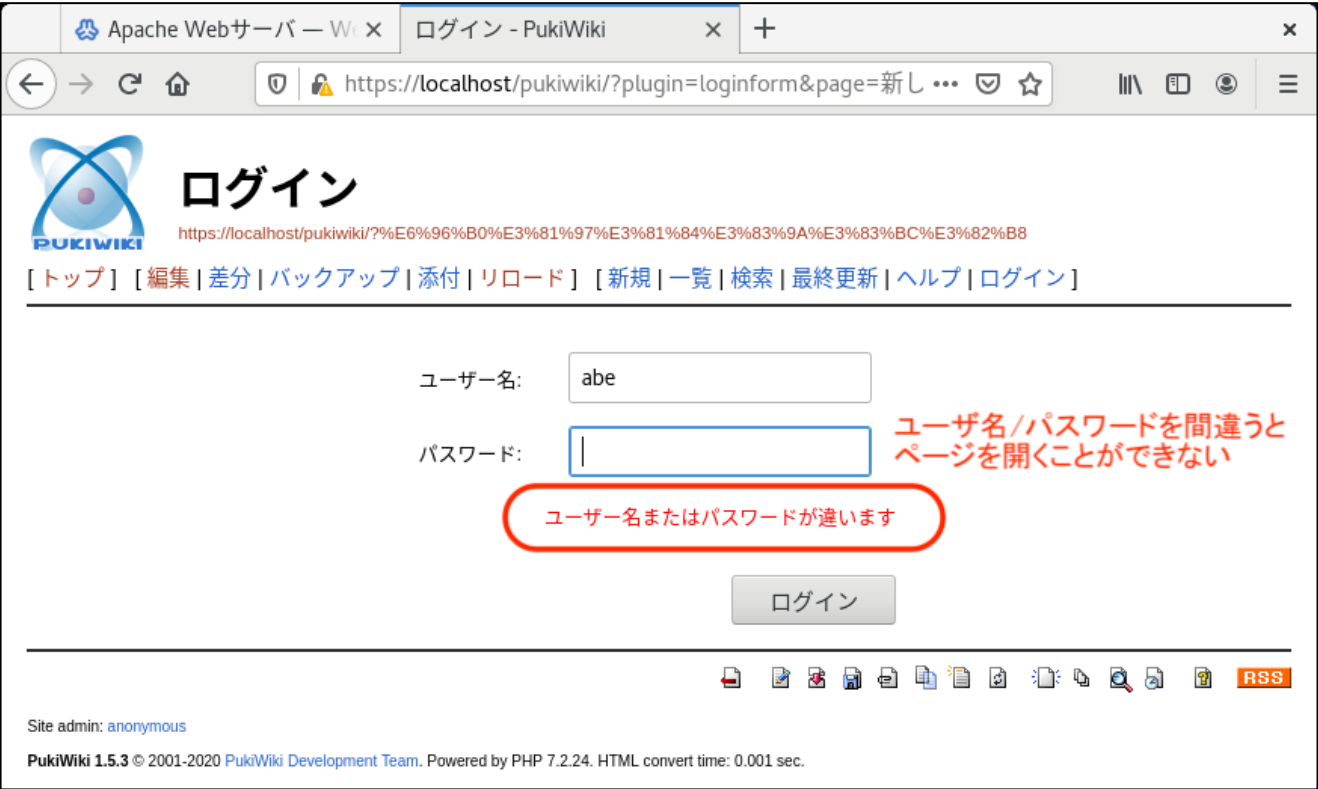


図33 ユーザ名あるはパスワードを間違えるとページを開くことができない